

畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地1

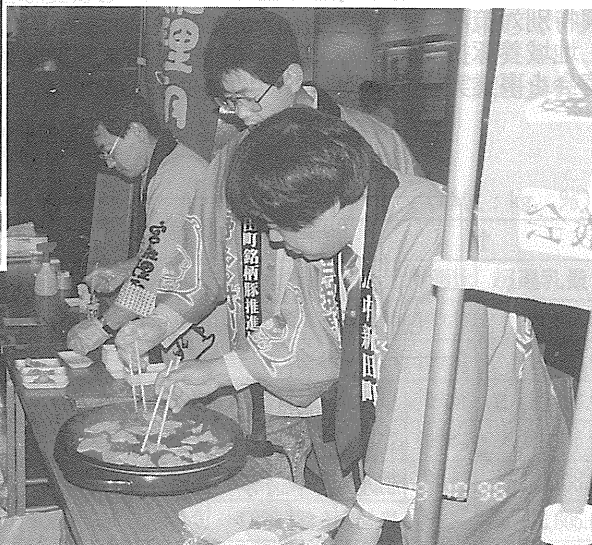
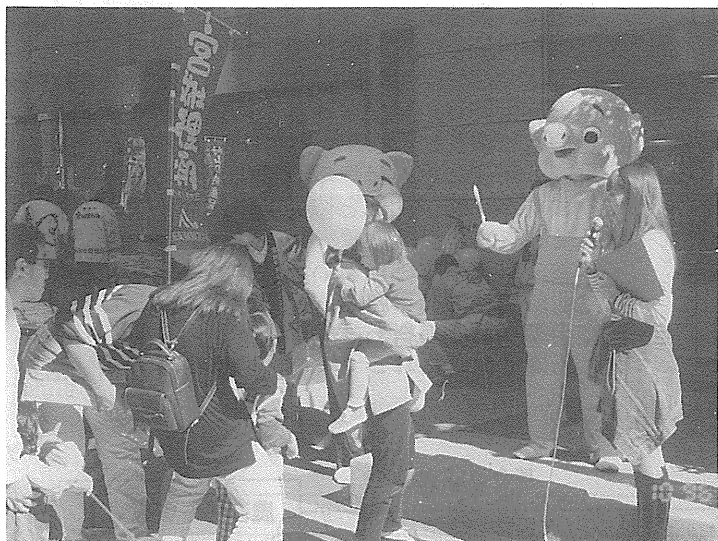
法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 ㈱東北プリント



(’96. 10. 19 宮城野ポークフェスティバル96 於：サンモール一番町)

も く じ

- 地域養豚振興特別対策事業について…… 2
- 平成8年度生乳需給状況について…… 3
- 飼料作物単収向上対策事業
 - (平成8年度新規) について…… 4
- 平成8年度宮城県総合畜産共進会盛會裡に終了…… 5
- 第36回仙台牛枝肉共進会終了報告…… 5
- 「平成8年度みやぎ農業まつり」開催報告…… 6
- 「宮城野ポークフェスティバル96」開催終了報告…… 6
- 皆さんこんにちわ!…… 7
- ニー・メン・ハオ!…… 7
- 海外研修 IN U・S・A…… 8
- 事務所移転のお知らせ…… 8
- ビニールハウス利用の簡易ふん処理施設について…… 9
- 豚流行性下痢 (PED) について…… 10
- 抱 負…… 10

地域養豚振興特別対策事業について

宮城県畜産課

養豚は、規模拡大や新技術の導入等、畜産のなかでも経営努力に努めながら、食料生産の一翼を担って来ています。近年は、輸入豚肉の増加する中、一方では養豚農家及び豚肉生産の減少が見られます。宮城県におきましても養豚の飼養頭数は、平成 2 年の 323,100 頭をピークに年々減少してきており、平成 8 年 2 月 1 日現在の飼養頭数は、241,500 頭で平成 2 年に比べてみますと 74.6% となっております。

養豚振興の支援策としては、改良資金や近代化資金等の融資事業及びリース事業等が打ち出され利用されてきましたが、養豚農家や肉豚生産の減少が続く中、関係団体及び生産者等が一致協力して、肉豚の生産振興・生産性向上を図るための、地域養豚振興特別対策事業への取り組みとなりました。

地域養豚振興特別対策事業は、社団法人宮城県畜産会を事業実施主体として、地域養豚振興基金（以

下、「基金」という）を造成し、地域養豚の振興及び安定的な養豚経営の発展を図るため、養豚集団等が実施する施設整備や種豚導入等の事業への助成を行います。

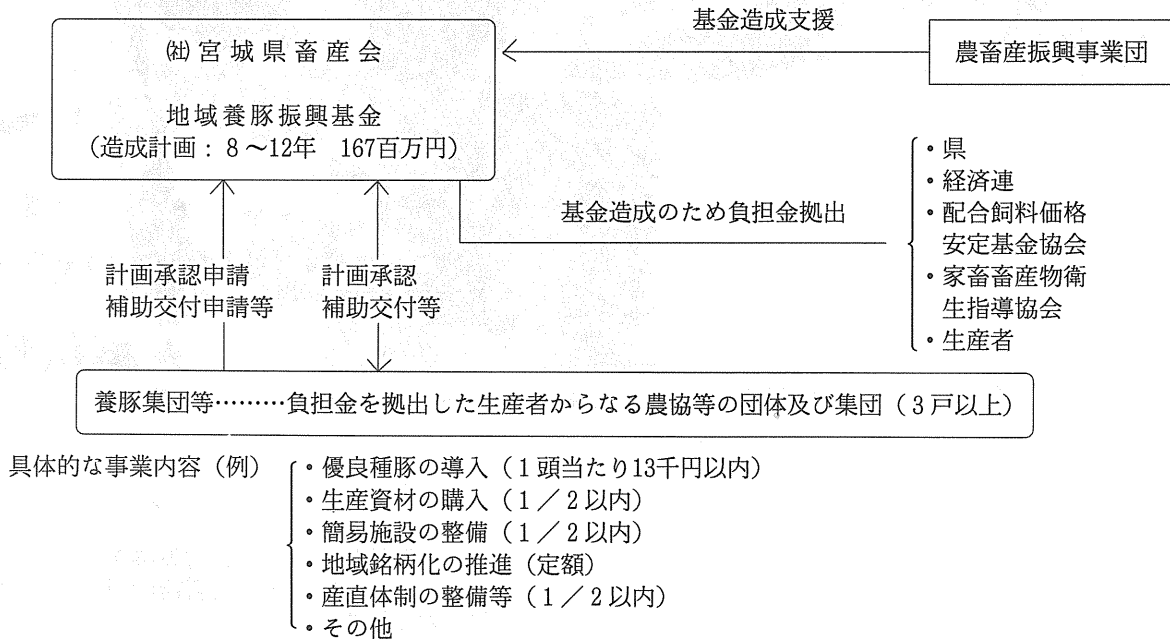
基金は、農畜産業振興事業団、県、経済連、宮城県配合飼料価格安定基金協会、宮城県家畜畜産物衛生指導協会、生産者等の拠出により造成されます。事業実施期間は、平成 8 年度から 12 年度の 5 年間で、基金の取り崩しにより養豚集団等へ助成を行います。

平成 8 年度の事業は、年度途中からのスタートになりますが、関係団体と協力の下、円滑に事業を推進していきます。

なお、事業の詳細については、最寄りの家畜保健衛生所、農林振興事務所（畜産振興部）及び宮城県畜産会等へお問い合わせ願います。

（畜産経営係 石川知浩）

地域養豚振興特別対策事業の取組概要



安定的な宮城の養豚経営の発展

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
きたまま腸までとどきます。

ビヒダス
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市殿野五丁目1番3号
☎(022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

動物用薬品器材のことなら
タックにご用命下さい。

株式会社 タック

本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
電話 022-225-7338(代)

仙台(営) 〒987 遠田郡小牛田町関根字館野28番
古川(営) 電話 0229-34-2018(代)

福島(営) 〒960 福島市矢剣町22番5号
電話 0245-36-2815(代)

須賀川(営) 〒962 須賀川市卸町3番
電話 0248-76-5177(代)

平成8年度生乳需給状況について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成8年度の生乳計画生産出荷目標は、全国では昨年度の生乳出荷基礎最終目標に対し100.5%でしたが、本県は昨年度大巾な未達となった為に、実績対比102.1%となり比較的なだらかな増産計画となりました。

上期における生乳生産は、昨年9月以降連続して前年水準を上回っており本県でも対前年比107.2%と大幅な伸びを示しております。(別表1)

飲用向けについては、全国で対前年比100.9%となっておりますが、本県においては全酪問題があったにもかかわらず各社の協力により対前年比102.5%と全国平均を上回っており、特に東北・関東の中では高水準で推移しております。

又は酵乳、生クリーム等向けについては、全国ベースではそれぞれ108.7%、139.0%とかなりの高水準で推移しておりますが、これは特に北海道が依

然大幅な増加基調を続けているためであり、その影響を受け宮城は前年を大巾に下回る結果となっております。(別表2)

下期に向けての生乳需給調整対策としては、現在国内の生乳需給が回復の兆しをみせている他、特定乳製品の需要が拡大していることから、今年度の特別措置として生産枠の追加配分がなされました。

本会としまして、現在の生乳生産状況や下期の達成見込状況について会員より報告書を提出していただくと共にヒアリング等を実施した上で、平成8年度会員別生乳計画生産出荷目標数量の修正を行いました。(別表3)

本年度は当初目標よりも上方修正になりましたので、生産基盤維持拡大の為に目標を達成していただきますようお願い申し上げます。

(販売課長 武田良介)

別表1

平成8年度月別生乳計画生産達成状況

(単位: kg, %)

生産者団体	累 計				10 月 分				累 計			
	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量
蔵王酪農	16,695,445.0	105.16	101.47	242,245.0	2,773,538.0	106.13	100.78	21,538.0	19,468,983.0	105.30	100.11	21,538.0
宮城酪農	27,277,024.0	107.43	102.56	682,024.0	4,475,605.0	103.57	102.21	96,605.0	31,752,629.0	106.87	100.31	96,605.0
経済連	15,901,022.0	107.03	100.96	151,622.0	2,605,512.0	104.07	96.50	▲ 94,488.0	18,506,534.0	106.61	99.49	▲ 94,488.0
仙台酪農	3,223,001.0	110.41	104.44	137,001.0	522,255.0	109.38	104.03	20,255.0	3,745,256.0	110.27	100.54	20,255.0
県酪連	16,247,870.0	108.77	101.39	222,870.0	2,672,738.0	107.52	105.98	150,738.0	18,920,608.0	108.59	100.80	150,738.0
栗原酪農	4,183,337.0	104.87	102.78	113,337.0	646,395.0	102.96	99.60	▲ 2,605.0	4,829,732.0	104.61	99.95	▲ 2,605.0
登米酪農	3,998,344.0	110.97	98.57	▲ 58,156.0	645,580.0	101.47	97.23	▲ 18,420.0	4,643,924.0	109.55	99.60	▲ 18,420.0
本吉酪農	3,030,909.0	104.66	101.54	45,909.0	490,823.0	102.88	100.79	3,823.0	3,521,732.0	104.41	100.11	3,823.0
遠田酪農	2,801,160.0	108.74	101.60	44,160.0	480,116.0	107.43	110.63	46,116.0	3,281,276.0	108.54	101.43	46,116.0
山田酪農	765,449.0	103.84	92.33	▲ 63,551.0	111,473.0	88.86	97.78	▲ 2,527.0	876,922.0	101.66	99.71	▲ 2,527.0
合 計	94,123,561.0	107.23	101.64	1,517,461.0	15,424,035.0	104.82	101.45	221,035.0	109,547,596.0	106.88	100.20	221,035.0

10月分及び累計の計画比は修正後の目標数量で算出している。

別表2

平成8年度上期用途別販売実績

用途別	乳量(kg)	前年比(%)	構成比(%)	備考	
飲用向	市乳向	64,043,786.2	102.91	68.04	
	学級向	5,195,396.4	97.47	5.52	
	小計	69,239,182.6	102.48	73.56	
生クリーム等向	2,558,438.0	95.72	2.72		
酵乳等向	3,442,664.4	84.22	3.66		
ナチュラルチーズ	539,337.0	109.93	0.57		
加工向	18,343,939.0	141.47	19.49		
受託乳量	94,123,561.0	107.23	100.00		

別表3

平成8年度会員別生乳計画生産修正出荷目標数量

	平成8年度 生乳出荷 基礎目標数量 ①	追加配分等数量				第1回目酪農経営体育強化事業(生産枠流動化)				平成8年度 修正生乳出荷 基礎目標数量 ①+④+⑥	平成8年度 生乳出荷 実質目標数量 ①+④+⑥+ ⑦
		基礎枠 (無償) ②	基礎枠 (有償) ③	基礎枠合計 ④=②+③	基礎枠外 (無償) ⑤	売買成立数量 ⑥		1年目移動数量 ⑦			
						譲受数量	譲渡数量	譲受数量	譲渡数量		
蔵王酪農	32,793,000	126,000		126,000	226,000					32,919,000	33,145,000
宮城酪農	52,503,000	117,000	102,000	219,000	327,000					52,722,000	53,049,000
経済連	31,362,000	191,000	349,000	540,000	470,000	20,893		16,677		31,922,893	32,388,677
仙台酪農	6,067,000	14,000		14,000	138,000					6,081,000	6,219,000
県酪連	30,690,000	69,000	223,000	292,000	476,000					30,982,000	31,458,000
栗原酪農	8,165,000	19,000		19,000	4,000					8,184,000	8,188,000
登米酪農	7,685,000	17,000	125,000	142,000	95,000	271,192	▲ 131,776	216,465	▲ 108,550	7,966,416	8,029,915
本吉酪農	5,942,000	13,000		13,000	65,000					5,955,000	6,020,000
遠田酪農	5,310,000	12,000	37,000	49,000	95,000	65,319		52,138		5,424,319	5,506,138
山田酪農	1,577,000	▲ 57,000		▲ 57,000						1,520,000	1,520,000
計	182,094,000	521,000	836,000	1,357,000	1,896,000	357,404	▲ 131,776	285,280	▲ 108,550	183,676,628	185,523,730
(備考)		特別とう汰 事業並びに 会員交換分	特別調整乳 10円/kg		特別生産枠	357,404 - 131,776 = 225,628		285,280 - 108,550 = 176,730			

飼料作物単収向上対策事業 (平成8年度新規) について

宮城県畜産課

この事業は、自給飼料の生産性向上のため土地利用の集積とともに、最近伸び悩み傾向にある単収の向上を目的としています。そのため、①適切な栽培管理技術の普及、②飼料作物の生産に係る指標で示された生産性の水準を目指した実証展示等を実施するとともに、これに必要な機械の整備を推進し、飼料生産の向上を通じた大家畜畜産の低コスト化、経営体質の強化に資するものです。

事業実施主体は、社団法人日本草地畜産協会です。
 <飼料作物単収向上推進事業>

①飼料作物単収向上普及啓発事業

適切な栽培管理技術の普及及び畜産経営における飼料生産の重要性の啓発を図るため、パンフレット及びビデオの制作・配布を行います。

②飼料作物単収向上技術研修等濃密指導事業

地域の実情に応じた技術の普及を図るため、技術研修会の開催、濃密指導等を行います。

③飼料作物単収向上実証展示事業

指標で示された生産性の水準を目指した実証展示

を実施し、栽培管理技術の実践的普及を図ります。

④草づくりコンクールの実施

生産性の高い優良草地事例を調査し、草づくりコンクールを開催します。

<飼料作物単収向上促進事業>

飼料作物の単収向上の実現を図るため表-1の機械の整備を行います。

採択条件は、畜産再編総合対策の効率的飼料生産促進事業と同様で、対象者は農業協同組合、公社、農事組合法人、営農集団(3戸以上)などです。

(草地環境整備係 日野義彦)

表-1 補助対象機械、補助率

機 械 名	規 格 等	補助率
ソッドシーダ	ピックアップ幅1m以上	1/3 以内
ロールベアラ		
ベールラップ		
ベールグリッパ		
スラリーインジェクタ		

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルピックス

牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化配合飼料

農 協 | 全 農 | 経済連

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50

WORLD 世界の

サンショタン



株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話 (022) 236-2525 (代表)

平成8年度宮城県総合 畜産共進会盛會裡に終了

宮城県畜産会

宮城県畜産会主催による農林水産祭参加平成8年度宮城県総合畜産共進会は、去る9月11日～13日宮城県食肉流通公社で肉豚部門を、9月20日～21日小牛田家畜市場で乳用牛、肉用牛部門をそれぞれ開催し、盛會裡に終了した。

今年も、消費者との交流を深めるため農畜産物等の展示即売や抽選会など各種イベントを盛りこんだ内容で好評を得ました。各部の受賞者は下記のとおりです。(事務局次長 佐藤勝也)

≪名誉賞受賞者一覧≫

乳用牛の部

第5区4オクラス経産

登米町 高橋 義之

第3区 生後22ヵ月以上28ヵ月未満

丸森町 半沢 善幸

肉用牛の部

第3区 生後17ヵ月～20ヵ月未満、黒毛和種

南郷町 只野 善久

第5区 経産の1生後4才未満、黒毛和種

小野田町 高橋 栄一

第9区 改良組合繁殖牛、黒毛和種

桃生町和牛改良組合 伊藤 幸

及川 昭

細川 正昭

肉豚の部

第1区 ミヤギノ交雑豚

豊里町 佐々木 章一

第2区 第1区以外

登米町 木村 しづ子



第36回仙台牛枝肉共進会 終了報告

宮城県経済連

農林水産祭参加第36回仙台牛枝肉共進会は、11月10日～13日の4日間仙台中央卸売市場(株)において開催され、盛會裡に終了しました。

◎チャンピオン賞牛一覧

第1部

黒毛和種去勢の部(30ヵ月未満)

出品者:小高 栄(JA三本木町)

血統:父 奥 茂

母の父 茂糸波

規格A5 枝肉重量444.5kg

枝肉単価4,015円

第2部

黒毛和種去勢の部(30ヵ月以上)

出品者:横山 清(JA逢隈)

血統:父 第2波茂

母の父 紋次郎

規格A5 枝肉重量479.0kg

枝肉単価5,016円

第3部

黒毛和種雌の部

出品者:大友 栄一(JAみどりの)

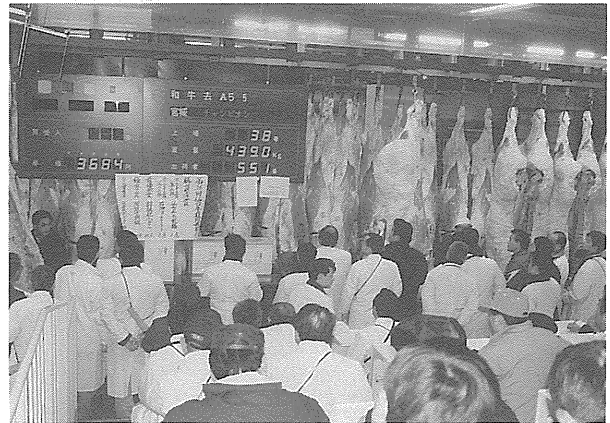
血統:父 茂 勝

母の父 景 藤

規格A5 枝肉重量405.0kg

枝肉単価4,028円

(食肉販売課長 後藤洋一)



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役会長 山田 修造
取締役社長 竹下 正則
本社 〒980 仙台市青葉区木町通一丁目5-20 ☎022(267)7211
事業本部 〒984 仙台市若林区卸町二丁目10-3 ☎022(284)8111
古川営業所 〒989-61 古川市福浦字道の上137-1 ☎0229(24)1211

畜産の健康と未来に貢献する

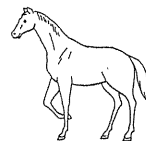
獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

◎小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 694151(代)
古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所 横手営業所 酒田営業所 帯広営業所
盛岡営業所 青森営業所 福島営業所 家畜衛生食品
大船渡営業所 八戸営業所 旭川営業所 検査センター
古川営業所 山形営業所 札幌営業所

畜産振興の明日を
担う地方競馬



地方競馬全国協会

「平成8年度みやぎ農業まつり」 開催報告

宮城県畜産課

去る平成8年11月1～2日の2日間、名取市の県農業センターで「平成8年度みやぎ農業まつり」が開催されました。本年は「築こう魅力あふれるみやぎの農業」をテーマに、生産技術の向上と担い手の就農意欲を啓発するとともに、県民の農業への理解を深め、農業者と消費者の交流の輪を広げるため盛りだくさんのイベントが企画され、最先端の試験研究成果の発表、農産物の大品評会、収益性の高い農産物・優れた組織活動の紹介のほかJA関係と協賛団体による展示・即売など併せて30以上のコーナーが設置されました。畜産関係は以下のとおり。

- ①試験研究コーナー：牛の人工授精技術等の最新技術（県畜産試験場）
- ②ふれあい交流コーナー：小動物とのふれあいコーナー（仙台家畜保健衛生所、仙台酪農協）
- ③JAコーナー：仙台牛、宮城野豚の試食・即売
- ④協賛団体コーナー

県牛乳普及協会：県産牛乳乳製品の即売・PR
骨密度測定(成人病予防協会)

県養鶏協会：鶏卵の即売・PR

初日には開会式の後、浅野知事も会場全体の各コーナーを訪れ、興味深げに見学されました。残念ながら会期中は好天に恵まれませんでした。農業・農村の役割に対する広い理解を得、消費者との交流の輪を広げることができました。特に新鮮な農畜産物や花卉類の販売は人気が高く、両手に抱えきれない程の荷物を持った来場者の姿が数多く見られました。

(畜産流通係 青木隆英)

「宮城野ポークフェスティバル96」 開催終了報告

宮城県経済連

生産者と消費者を結ぶ第3回「宮城野ポークフェスティバル96」が10月19日サンモール一番町アーケード藤崎入口で盛大に開催されました。

県内産肉豚の銘柄化と本県養豚農家の経営安定を図るため宮城野豚（ミヤギノホーク）が誕生して4年目を迎えました。その一方で国内の養豚を取り巻く情勢はますます厳しくなっております。

このような中で本県においては県内産肉豚を宮城野豚（ミヤギノポーク）として銘柄化を図っており県内8つの地域生産組織で生産に取りこんでおります。

今回の開催企画はミヤギノポークの試食、アンケート調査の実施、パネル展示、豚ぬいぐるみによるグッズプレゼントの配布等、安全安心でおいしい豚肉宮城野ポークを消費者の皆さんに宣伝することがねらいです。

消費者の皆さん、最寄りの指定販売先に行かれた折にはぜひ宮城野ポークを購入し、そのおいしさを実感していただきたいと思ひます。

(食肉販売課長 後藤洋一)



STAR スター農業機械

マニュアルスプレッタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクロータ)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL.022-367-4573

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。
35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母

Ferment Feed

ビタコーゲン

〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
株式会社セイワ 東北営業所
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022) 284-0691
宮城営業所 古川市新田字長尾659-4
☎989-61 TEL (0229) 26-4330

皆さんこんにちは!

JICA 研修生

Ms. Suppaluck Chan-Udom



私は、10月14日国際協力事業団(JICA)の研究者として来日し、現在仙台家畜保健衛生所で細菌の分離・同定についての研修を受けています。1984年バンコクのカセサート大学獣医学部を卒業後、

現在までタイの南部地域診断センターに勤務しております。最初の4年間は疫学研究室に所属し、後に細菌研究室に配属され現在に至っています。

タイにおける畜産業は、全国的に急速に伸びており特に家禽や養豚業は飛躍的に拡大しています。その他肥育牛や乳用牛の飼養も盛んです。私は、国立家畜衛生研究所プロジェクト：フェーズIIに関する者の一人として、少しでも知識を吸収しプロジェクトの成功に寄与すべく、家畜細菌学の研修を受けるために日本にやって参りました。しかし、日本の生活文化等についても大変興味を持っており、この機会を利用してできるだけ多くのものに触れ、体験したいと思います。戦後日本は驚異的な発展を成し遂げ、世界の一流国となりました。来年3月までの滞在中にその解答を見い出せるかも知れません。

関係者の方々には、本研修以外のことについても、日頃何かとお世話を頂き感謝しております。今後県内の畜産関係者の方々にはいろいろとお世話になる機会があると思いますので、その節には何卒よろしくお願い致します。

ニー・メン・ハオ!

宮城県畜産試験場研修員

徐 春 城

私は、徐春城と申します。中国吉林省延辺大学農学院畜産学部の講師を担当しております。研究分野は、家畜栄養学です。今年7月23日に、農業技術研修員として来日しました。

現在、宮城県畜産試験場の種豚家きん部で研修しております。来日の目的は、日本において先進的な豚の栄養・育種・飼養管理等について学ぶことです。研修に入ってから、既に3ヶ月になりました。試験場の皆様、特に原種豚科の先生達には、親切にご指導をいただいております、いろいろ勉強になります。

次に、私の研修についてですが、11月より実際の試験を担当させていただくことになりました。私の試験の内容は、養豚を巡る環境問題に関わるものです。「低蛋白質飼料(アミノ酸配合)を用いることにより、豚の糞尿の窒素含量や糞尿の量をどのくらい減らせるか。」つまり、豚における低蛋白質飼料(アミノ酸配合)の消化試験です。良好な結果を得るため、精一杯頑張ろうと思っています。

最後になりましたが、日本に来て、新しい農業技術を習っただけでなく、日本の経済・文化および生活習慣等に触れることができました。そして、日本人の勤勉さ・真面目さ・文化教養等に深い感銘を受けました。中国に帰ったら、私は日本で習った先進的技術を活用し、中国畜産業の発展のため、それから、中日両国、特に吉林省と宮城県の友好関係を更に発展させるために一生懸命努力し貢献したいと思っております。宮城県の畜産関係の皆様、よろしくお願いたします。

※ 徐氏は、非常に勉強熱心で日本語が堪能な方なので、自己紹介をしていただきました。



動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

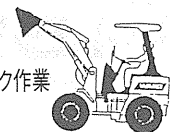
東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字萃畔135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、

飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

実践大学校生及びOBの抱負

海外研修 I N U · S · A

宮城県農業実践大学校畜産学部旅行委員

私たち宮城県農業実践大学校2年生全員は11月5日から16日までアメリカ合衆国カリフォルニア州に農業視察研修に行ってきた。アメリカには10日間滞在しましたが、10日間はとても短くアメリカの農業と習慣を学ぶにはもったいなければならぬと思いました。

滞在中は毎日晴れていてとても過ごしやすかったです。しかしその天気よさが水不足を招くので、カリフォルニアでは灌漑施設がないと農業をすることが出来ません。視察したサンルイスダムの水は大半が農業用水として利用されていますが、雨だけでは足りないため北方の雪解け水も利用しているそうです。

肥育牛16品種8万8千頭、従業員200人、カウボーイ16人という大規模なハリス牧場も視察しました。水は多量に使用するためパイプラインで運び、飲み水以外にはスプリンクラーを使用して温度を下げたり、埃を立たなくしています。8万頭の牛の死亡率は年間1%未満と低いということでした。

また、研修中に2日間のホームステイをしました。ホストファミリーは私たちが快く受け入れてくれて、ショッピングやゲームを楽しみました。良い思い出となりました。

アメリカは広大な大地で移動するときにも大分時間がかかりますが、とても良い国で一度は住んでみたい。この研修は一生忘れることの出来ない思い出となると思います。



事務所移転のお知らせ

このたび下記のとおり事務所が移転し11月18日より新事務所で業務を開始いたしましたのでお知らせいたします。

記

移転先 〒981-12

宮城県名取市増田字柳田379番地1

移転団体名と電話番号・FAX番号

※ 社団法人宮城県畜産会

※ 宮城県肉用牛協会

電話番号 022-382-8133

FAX番号 022-382-8135

※ 社団法人宮城県肉用牛価格安定基金協会

電話番号 022-382-8137

FAX番号 022-382-8139

※ 宮城県養豚協会

電話番号 022-382-5358

FAX番号 022-382-5359



動物用 (牛専用) 医薬品

トルラミックス
特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL883121
山形店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL883121
仙台店 仙台市太白区羽黒台31-14 16 TEL094306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL240963



飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116

<畜試便り>

ビニールハウス利用の簡易ふん処理施設について

宮城県畜産試験場

近年、畜産農家の減少に反比例して、使用規模の拡大、また混住化の進展等により、環境保全に配慮したふん尿処理が畜産農家に課せられた課題となっている。

また畜産物価格の上昇等が期待できない中で、ふん尿処理に大きな投資することは、大きな負担を経営に及ぼすことになる。

そうした中で、この問題を解決する一つの方策として、当畜産試験場に比較的設備投資及びランニングコストの少ないビニールハウスを利用した簡易ふん処理施設を設置したので紹介します。

本施設は、一般に設置されている攪拌処理方式と原理的には同じですが、20~30cmと薄く堆積して攪拌移動させる点に違いがあります。

施設の概要

- 対象家畜：乳用牛50頭 ふん1500kg/日、水分85%
- 規模：軽量鉄骨 370.5㎡ (9.5m×39m)
- 設置費：ビニールハウス 250万円
- 攪拌機(2台) 280万円
- コンクリート工事 247万円
- 計 777万円

この施設の稼働システムは、下記のフローチャートのとおりです。

①牛舎からの水分85%の牛ふんに、サブ乾燥床からの乾燥ふんを混合、水分75%に調整、30cmの厚さに堆積。

に堆積。

②1日3~4回の自動攪拌機(タイマー付)により、15日間かけて主乾燥醗酵床上を攪拌移動。

③出口において、65%以下に低下させた乾燥ふんの半分程度をサブ乾燥床に移動し、さらに乾燥させる。

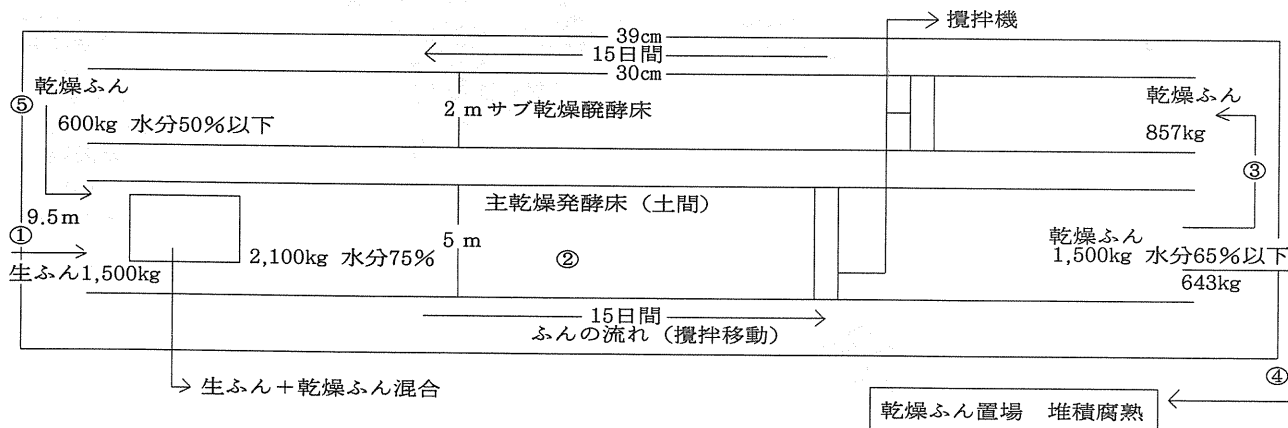
④残りの半分を搬出・堆積し腐熟を進める。これが最終生産物となります。

以上が本施設のシステムですが、このシステムの特徴として次のような利点、欠点が想定されます。(今後の試験検討課題でもあります。)

- (1)経営体の立地条件に併せて、施設の形状・ハウスの材質等により建設費を抑えられる。
- (2)薄く堆積するので大型の攪拌機を要しない。メンテナンスも素人でも可能。
- (3)乾燥だけの施設ではないのか？
厚く堆積したよりも、醗酵温度は30~50℃と低いがこれは醗酵熱が発散しただけで、充分醗酵熱を発生していると思料される。
- (4)冬季間の処理能力は？
冬季間は1/2~1/3に乾燥能力が低下するものと考えられますが、乾燥ふんの混合割合を多くして、初期水分を低く調整する。また冬季間、空いているほ場等に保管し、冬季間以外で処理する等でカバー可能と想定される。

(環境資源科長 佐々木秀夫)

ビニールハウス利用簡易ふん処理施設のフローチャート



* 1日 3~4回攪拌移動

<衛生便り>

豚流行性下痢 (PED) について

仙台家畜保健衛生所

豚流行性下痢 (以下PED) は、ウイルスによる豚の水様性下痢を主徴とする伝染性疾病です。本ウイルスはコロナウイルス科に属するウイルスですが、豚伝染性胃腸炎 (TGE) や他のコロナウイルスとは全く異なるウイルスです。諸外国での最近の浸潤状況では、ベルギー、ドイツ、フランス等のヨーロッパ地方や台湾、韓国にその浸潤が認められています。

わが国では、1982~1984年に北海道、岩手県、宮城県、千葉県、徳島県、香川県、鹿児島県にPED様疾病があったといわれ、その後10年余り報告されていませんでした。しかし、1994年に鹿児島県、1996年に北海道や東北、九州地方では大発生が起り、全国で総計102戸、死亡頭数37,382頭の膨大な被害がありました。

PEDの発生は、冬季に集中し、1~5月に多いとされています。臨床症状として、0~10日齢の新生豚では黄色水様性下痢を起こし、重篤な場合は脱水、死亡に至ります。育成豚や肥育豚及び繁殖豚にも水様性下痢が認められますが、1週間程度で回復するようです。また、母豚の場合、食欲減退、発熱、泌乳量の減少あるいは泌乳停止が認められます。

本病の診断には、病理組織学的診断並びに電子顕微鏡による診断があり仙台家畜保健衛生所でも可能です。

PEDはウイルス性疾病であるため有効な薬剤はなく、ワクチンについては、現在野外試験中です。基本的には農場環境の衛生対策の強化、オールイン・オールアウト方式の導入、分娩舎や導入豚の隔離対策、分娩計画の変更・中断等の措置が必要と思われます。これから寒い冬がやって来ます。家畜保健衛生所と連絡を密に取りながら的確な予防衛生対策を実施していきましょう。

(病性鑑定課 西 清志)

抱負

宮城県農業公社

大郷牧場研修生 小野寺直人

紅葉の色もようやくあせて、そろそろ暖房機器の恋しい季節になって来ました。

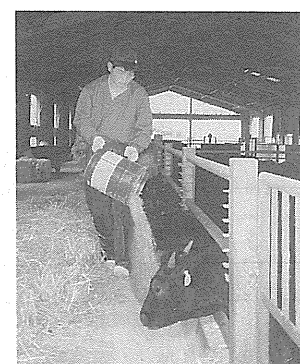
本年度より研修生として宮城県農業公社大郷牧場に配属になりました小野寺と申します。私は何をやるにも他の人よりスリーテンポぐらい遅れていて、やる事為す事は全部あやふやで四苦八苦の毎日が続いています。職場の方々はもちろんの事、他の方々にも御迷惑ばかりおかして「申しわけないなあ。」と思う毎日です。

とても恥ずかしいお話ですが、私は全くと言っていいほど畜産について分からないのです。しかし、こんな私でも「授精師になる。」という目標があります。

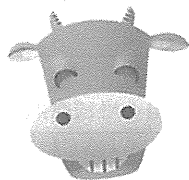
この目標を達成するために、まず私が覚えなければならぬ事は、牛体の各部の名称や生殖器の配置位置などを理解し、実際に牛を使って勉強した事の復習や感触を学び、新たな発見をすることです。分からない所は、職員の方々に聞くなりして必ず疑問の答えを出すよう心がける事です。

研修生としてまだまだ覚えたり、身につけたりしなければならぬ事は沢山ありますが、今、自分に大切な事は、頼まれた仕事は、正確にやりこなし、スピーディーに、しかも見た目が美しい仕事をやる事です。

そして1日も早く職員の方々の手を借りず、仕事が出来るようにする事です。この事をマスターするには時間が多くかかりますが、最後まで投げ出さないよう頑張りたいです。まだまだ不備な点は人の何十倍もありますが、出来る限り頑張ります。最後になりましたが「牧場でぜひ働きたい。」と思っ



ている方々のために、研修制度を宮城県農業公社設けてありますので、ぜひこの機会に共に働いてみませんか？お待ちしております。乱文ではございますが、胸を張れる農業後継者を目指したいと思えます。皆様よろしく願い致します。



肉の日
毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒980 仙台市青葉区上杉1丁目2-16(社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-262-9180